

基研研究会の運営について

碓 井 恆 丸 (基研)

本誌4巻481頁 (no.6) に「研究会はいつ行なわれるか?」 「一読者」の投稿があつた。研究会計画についての予告と公募、その詳細な事後報告を要求した文である。次に基研研究会の運営法について報告したい。

誰でも、一人でも数人でも研究計画の提案ができる。提案は、研究計画の名称、その提案者名 (通常提案者が世話人となる)、提案理由、研究計画の概要、参加者名簿 (或は主な参加者名と参加人員数)、要求金額を文書で公示の期限までに提出していただく。研究計画の募集公示は、素粒子論グループ事務局報、雑誌「素粒子研究」、「物性研究」に掲載される。これが基研研究部員会で討論され、その採否、予算調整が行なわれ、次いで基研運営委員会の承認を経て基研協議員会決定の後発効するのである。

次に各個の研究会の運営についてであるが、勿論その精神から言つて、研究計画は予告され、参加者は公募されるのが原則であろう。

以前計画案は、研究部員会で討論される前に必ず素粒子論研究に掲載公開されることになつていたが、最近この手続が省略されている。また参加者も、研究部員会で決定される慣わしであつたようであるが、最近はこの選定も世話人に一任するようになってきた。特に多くの創意を活かして研究計画活動の発展をはかるため、運営を世話人に一任する傾向があるように思われる。この能率化が、しばしば民主原則に背反する事態を発生させているのも事実であろう。批判が高まれば勿論研究部員会でチェックされることと思うが、現行のやり方では、事務局報なり連絡誌で、承認された研究計画を知つていただき、参加希望なり、運営方法に対する意見を直接世話人に通じて載くのが適当だと思われる。

報告については、ひとつ Progress of Theoretical Physics のサプリメントに英文で概要報告を書いてもらうことが希望事項になつている。しかし多くの研究計画では国内連絡誌に、その経過報告を掲載している。これは世

ひろば

話人の努力で行なわれるのであるが、よい報告書を作ることはなかなか困難なようである。報告書に対する具体的な批判を投書していただき、皆で努力するほかないのではあるまいか。

以下は物性関係の委員と研究部員の名簿である。この人達に連絡して、一般的な御意見は研究部員会に反映するようはからつていただきたい。

運営委員：久保亮五（東大理）、小谷正雄（阪大基工）、永宮健夫（阪大基工）、松原武生（京大理）、松田博嗣（京大理）、碓井恆丸（基研、名大理）。

研究部員：宮原将平（北大理）、中嶋貞雄（物性研）、豊沢 豊（物性研）、小口武彦（都立大理）、斉藤信彦（早大理工）、阿部竜蔵（物性研）、長谷川洋（京大理）、金森順次郎（阪大理）、中村 伝（阪大基工）、池田和義（阪大工）。

ニ ュ ー ス

Prof. P. Nozieres (École normale Supérieure)

12月1日来日 東京・京都・仙台等を訪問し、各地で講演され盛会であった。

プレプリント案内

久保研

- Ground State of Correlated Electrons in a Narrow Almost Half-Filled s Band (Y. Nagaoka:)
- Some Dynamical Properties of Linear Magnetic Chains I On the Excitation Spectra of Linear Magnetic Chains (Kyozi Kawasaki)